

<日本脳炎>

①	未接種者に対するワクチン接種は、どうしたらよいですか？
	→初回接種（2回）から始め、概ね1年後に追加接種を受けるようにしてください。
②	4歳児、第1期（1回）終了後に2回目接種を受けないまま、10ヵ月が過ぎてしまいました。接種時期について教えてください。
	→定期接種対象年齢のお子さんは、そのまま続きとして接種を進めてください。間隔も1年以上あいているわけではないので、基礎免疫の獲得は期待できると考えられます。
③	第1期（2回）終了後に、3回目接種を受けていない7歳児の、接種時期について教えてください。また、このまま受けずにいた場合には十分な免疫効果は得られないのでしょうか？
	→すみやかに3回目の接種を受けてください。日本脳炎ワクチンの効果を確実にするには、1~2回の接種では不十分で、3回以上の基礎免疫を終了しておくことが重要です。7歳6ヵ月までなら公費で受けられます。以降は任意接種となりますが、接種されることをお勧めします。
④	17歳で未接種の人について、20歳になるまで定期接種が受けられるとのことですが本当ですか？
	→2005年5月30日~2009年度にかけて実施された日本脳炎ワクチンの積極的勧奨の差し控えにより接種を受ける機会を逃した者（1995年4月2日から2007年4月1日までの間に生まれた者）で20歳未満の者は特例対象者とされています。接種を全く受けていない場合は4回の接種が受けられますので、計画的に受けるようにしてください。
⑤	日本脳炎に関して、「接種歴が不明であった場合には抗体価を調べることなく、接種歴なしとみなして基礎免疫から接種を始めます」とありますが、他のワクチンについても同様に考えますか？
	→日本脳炎ワクチンに関しては、抗体保有者がワクチンを接種することによって副反応のリスクが上がることはないためそのように書かれていますが、他のワクチンについては個別に考える必要があります。
⑥	7歳で未接種ですが、3回公費で受けられますか？
	→7歳6ヵ月までなら2回公費で受けられます。3回目は9歳になってすぐに受けることが効果的であり、第2期の接種として公費で受けられます。7歳6ヵ月を過ぎていれば2回任意で接種し、9歳になってすぐに第2期の接種として公費で3回目を接種するのが効果的。さらに4~5年後に任意接種すると抗体の持続が期待できます。
⑦	生後7ヵ月で1回目を接種後、39度の発熱があり2回目接種を逃しています。
	→予防接種の副反応で発熱がみられることはありますが、翌日には解熱すること

<日本脳炎>

	<p>がほとんどです。2回目も同様の副反応が出る可能性はありますが、受けることをお勧めします。ご心配なら主治医または予防接種センターにご相談ください。</p>
⑧	<p>10歳で未接種、今後のスケジュールはどのようにすればよいですか？</p>
	<p>→1回での接種では全く効果を期待できません。3回の接種で基礎免疫がつきますので最低でも3回の接種が必要です。第2期の接種(9歳から12歳)として公費で1回目を接種、その1ヵ月後に2回目、1年後に3回目を接種し、それで基礎免疫獲得が期待できます(2回目、3回目は任意接種となります)。3回接種し基礎免疫ができれば、4~5年間効果が持続します。基礎免疫ができていれば、その後、4~5年に1回の追加接種でさらに4~5年の効果が期待できます。</p>
⑨	<p>19歳、2回目接種から5年以上たっていますが問題ないですか？</p>
	<p>→3回目接種後、1ヵ月の間隔で4回目接種を受けてください。20歳までに接種できれば公費で受けられます(④の回答参照)。2回目から5年以上過ぎているので、4回目から3年後くらいに任意接種するとより効果的です。</p>